

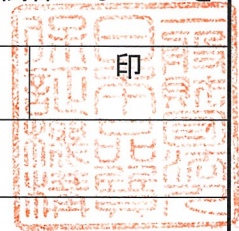
高知県オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会  
(事務局:高知県オフセット・クレジット認証センター)御中

平成 24 年 2 月 29 日

## 検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

|   |   |
|---|---|
| <b>対象プロジェクト名</b>                                      |   |
| 高知県津野町 龍馬の森間伐推進プロジェクト                                 |   |
| <b>GHG 検証機関</b>                                       |   |
| 当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。 |   |
| 機関名   | 一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA)   |
| 担当部署名   | 地球環境事業部   |
| 責任者名  | 矢野 忠行   |
| 責任者 E-mail  | yano-tadayuki@jqa.jp  |
| 責任者電話番号   | 03-6212-9333  |
| 審査員名 <sup>1</sup>                                     | 検証担当者 :野村 祐吾(検証チームリーダー)<br>小笠原 まり(検証メンバー)<br>外部専門家 :なし<br>レビュー担当者 :浅川 建一(テクニカルレビュー)<br>井上 寿(プロセスレビュー) |
| 機関要件への合致  | 合致  |
| 検証報告書発行日  | 2012 年 2 月 29 日   |
| <b>検証結果</b>   |   |
| 適用妥当性確認・検証ガイドライン                                      | オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 2.1  |
| 検証期間  | 2011年 2月 1日～2012年 2月29日   |
| 現地審査  | 期間<br>2012年 2月15日～2012年 2月15日   |



|              |       |   |      |      |      |      |
|--------------|-------|---|------|------|------|------|
|              |       | デスクレビュー(フェーズ1検証)の結果に基づき、プロジェクト事業者等に対するインタビュー、記録及び現地確認(フェーズ2検証)を行った。検証ポイントは以下の通りである。<br><GHGデータ及び情報><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロジェクト活動に関係するすべての吸収・排出活動</li> <li>・ プロット調査の実施状況</li> <li>・ パラメータの引用</li> <li>・ 活動量データ並びに算定に必要なデータ</li> <li>・ データの集計結果</li> <li>・ 吸収増大量の算定結果</li> </ul> <QA・QC体制><br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ モニタリング体制及び算定体制</li> <li>・ モニタリング担当者の力量</li> <li>・ データチェックの実施状況</li> <li>・ 計測機器の管理状況</li> </ul> |      |      |      |      |
| 排出削減・<br>吸収量 | 年度    | 2008  | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 |
|              | t-CO2 | 0   | 0    | 28   | 163  | 0    |
| 検証結果の要約      |       | 一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)は、高知県津野町における森林施業計画区域内の森林を対象として、上記モニタリング期間における二酸化炭素吸収増大量を検証した。検証の結果、「高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト モニタリング報告書 Ver. 1. 2」に記載された二酸化炭素吸収増大量192 t-CO2は「高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト計画書(第1回変更) Ver. 2. 1」及び「高知県オフセット・クレジット(高知県J-VER)制度に基づく温室効果ガス吸収プロジェクト計画書別紙 モニタリング計画書(第1回変更) Ver. 2. 1」に基づいて算定されており、不確かさ及び誤りの合計値が0 t-CO2(二酸化炭素吸収増大量に対する割合:0%)となり、重要性の判断基準の5%未満であることから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。                 |      |      |      |      |

i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。